

# 研究所たより 研究所たより

4月になり、また新たな年度が始まりました。協同総研では、毎年4月当初に年会費の請求をさせていただいており、その際に会員の方々の現況をお知らせいただくことがあります。中には新たな会員の申し込みや、退会の申し出もあります。先日、10年以上に渡り会員として支えていただいた奥村さんよりお電話をいただきました。内容は「身体障害があるのだが、障害者自立支援法が始まってお金がかかるため退会したい」というものでした。細かいご事情はお聞きできませんでしたが、お引止めすることも出来ず、せめて『協同の発見』に載せるので何か書いてください、とお願いして、しばらくして退会手続きの書類と一緒に以下の文章を送っていただきました。

## ぼくと応益負担

奥村芳春

ぼくは一宮市で生活をしています。肢体障害者です。僕は、障害者授産施設「コスモス」で働いています。しかし、今度の自立支援法でこの4月から働くのに利用料を月に7,500円支払って働きに行くこととなります。不条理にきわまりない事で働く気持ちが薄らぎます。ここに働くみんなの思いです。食費は5,100円です。

ぼくは、福祉ホーム「サンライズ」でホームヘルパーを活用しながら自立生活しています。ヘルパーを利用するのにもお金が必要になります。ぼくの場合は、一日に2時間で週に3日で月に約3,500円の負担になります。安心して外出するためにガイドヘルパーを利用していますがここに

も約8,000円の負担になります。

どうして国は、障害があるからホームヘルパーやガイドヘルパーを利用して当たり前の生活をしているのにお金を取るのかぼくには、納得できません。

ちなみに、収入は年金と諸手当と工賃で約13万円です。そこから家賃が42,000円、電気が7,000円、水道6,000円、電話7,000円、その他50,000円で生活しています。そこに新たに応益負担で約2万円の負担になります。生活は到底できません。

この間、『協同の発見』では障害者自立支援法についての記事を掲載してきましたが、当事者の方々が懸念していたような事態がもう現実のものとなっているようで、とてももどかしさを感じます。

その他、何人かの会員の皆さんからは、振込み票の空欄にご意見や励ましをいただいています。神奈川県磯部武さんからは「御無さたしています。いつも御苦勞様です。自立と協同の精神(心)で頑張っています。今後御支援とご指導を」といただきました。

今年度も1年間よろしくお願いいたします。

菊地 謙

# イタリア社会的協同組合調査報告【増補版】

約2年前の2004年6月に、2003年のイタリア調査をまとめた冊子(『協同の発見』別冊)を発行しましたが、おかげさまで、全て売り切れたため、このたび増刷をしました。

それに伴い、誤字・脱字・編集ミス of 修正を行いました。また、同時に佛敎大学の鈴木勉先生の報告で、初版発行時に十分書いていただけなかった点についても、今回内容を増補していただきました。

定価は変わらず500円(税込み、送料別)ですので、まだの方は是非お求めください。

お問い合わせ：協同総研 03-3903-3688 kyodoken@jicr.org



## 『イタリア社会的協同組合調査報告』

編集・発行 協同総合研究所

66P 2006.3.15 増補版発行 定価 500円

### 【目次】

#### ■発行にあたって (中川雄一郎)

#### ■イタリア社会的協同組合の形成過程と現況、課題——市場の再構築の担い手となる協同側の取り組みとは—— (田中夏子)

- 1 イタリア社会的協同組合とは何か
- 2 調査枠組みの概要と視点
- 3 調査結果および若干の考案—事業連合の機能をめぐって
- 4 調査結果および若干の考案—新たな視点の開拓
- 5 まとめにかえて

#### ■地域の普遍的利益を追求する協同組合

(岡安喜三郎)

##### [I] 研修概要

- 1 訪問期間、参加者等
- 2 研修訪問地

##### [II] 要約レポート

- 1 「公益」を担う社会的協同組合で働くということ
- 2 社会的協同組合と自治体の共同プロジェクト、国、EU
- 3 社会的協同組合とアソシエーション、コミュニティ、ボランティア
- 4 コンソルツィオと単協の期待
- 5 「国法(L.381/91)に基づいた社会的協同組合

制度」の普及

- 6 社会的協同組合をめぐる経営環境について [III] まとめ

#### ■人間発達に適合的な福祉供給主体像を求めて——イタリアの社会的協同組合を対象に—— (鈴木 勉)

- 1 問題意識の所在——人間発達に適合性をもつ供給主体像の探求
- 2 福祉の要求運動と事業運動
- 3 福祉サービスの特質と供給主体像
- 4 イタリア社会的協同組合の成立と発展
- 5 社会的協同組合とコンソルチオ(事業連合)
- 6 イタリア社会的協同組合のミッションと組織構成上の特徴

#### ■協同労働の現場から見たイタリアの協同組合・社会的協同組合 (現田友明)

- 1 はじめに
- 2 参加者、日程
- 3 研修の内容
- 4 【参加者の感想】

#### ○(資料) ISTAT 発表「イタリアの社会的協同組合 2001」訳 岡安喜三郎

調査のあらまし  
地域別に見た社会的協同組合  
社会的協同組合の「存続」  
組合員の社会的基礎と多元性  
人的資源(人材)  
労働者の規模  
経済規模  
活動、サービス、利用